

事業コード	H19-建-継-1		区分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	広域公園事業		部局課室名	建設交通部 都市計画課
事業種別	都市公園事業		班名	市街地整備・公園班 (tel) 018-860-2446
路線名等	秋田県立中央公園		担当課長名	小嶋 宣英
箇所名	秋田市雄和椿川		担当者名	主幹兼班長 柴田 明
総合計画との関連	政策コード	C	政策名	快適で安全な生活を支える環境づくり
	施策コード	01	施策名	四季を通じて快適な生活環境の確保
	指標コード	03	施策目標(指標)名	県民一人当たり都市公園面積

1. 事業の概要

事業期間	S52 ~ H24 (36年)	総事業費	209.1億円	国庫補助率	1/2、1/3	
事業規模	都市公園施設整備 A=132.6ha					
事業の立案に至る背景	秋田県立中央公園は、秋田空港を取り囲むように連なる丘陵地・広大な草原・良好な樹林地からなっている。空港の騒音緩衝地としながら自然の条件を生かし、広域的なレクリエーション、スポーツ、教育、散策及び休養の場として計画されたものである。					
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>国体等大規模スポーツ大会の開催などスポーツの振興</li> <li>高齢者、障害者等に配慮した都市公園のバリアフリー化の推進</li> <li>県民の多様なレクリエーション需要への対応</li> </ul>					
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)		計画時	評価時	増減	理由等	
	事業費	16,200,000	20,910,000	4,710,000	国体関連施設改修等追加による	
	経費内訳	工事費	14,913,000	19,600,000	4,687,000	
		用補費	1,287,000	1,310,000	23,000	
		その他	0	0	0	
	財源内訳	国庫補助	5,592,000	7,725,000	2,133,000	
		県債	6,926,000	10,816,000	3,890,000	
		その他	0	0	0	
一般財源	3,682,000	2,369,000	-1,313,000			
事業内容	調査設計 用地補償 施設工事		調査設計 用地補償 施設工事			
事業の進捗状況	昭和50年に都市計画決定し、昭和52年にファミリーピクニックゾーン、空港前庭ゾーンの都市計画公園事業認可を受け、工事に着手している。その後、スポーツゾーン、青少年教育ゾーン、自然観察ゾーンについても順次事業認可を受け、現在132.6haが整備済みである。					
事業推進上の課題	公園面積が広大で事業規模が大きく、また、需要を考慮しつつ必要な施設整備を進めているため、期間を要している。					
関連する計画等	あきた21総合計画で、「四季を通じて快適な生活環境の確保」を施策に掲げ、「県民一人当たり公園面積」の増大を施策目標としている。					
情勢の変化及び長期継続の理由	今年度(平成19年度)開催される「秋田わか杉国体、秋田わか杉大会」に向け、陸上競技場やテニスコート等の改修やバリアフリー化が必要となった。また、「あきたスカイドーム」の屋根根の改修など各施設を計画的に維持更新していく必要がある。					
事業効率把握の手法及び効果	指標名	県民一人当たり都市公園面積				
	指標式	都市公園開設面積/都市計画人口				
	指標の種類	○ 成果指標 ● 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無		
	目標値 a	18 m <sup>2</sup> /人	データ等の出典	都市公園等整備現況調査		
	実績値 b	18 m <sup>2</sup> /人				
達成率 b/a	100.0 %	把握の時期	平成19年4月			

前回評価結果等	選定または継続 改善 見直し 保留または中止
	指摘事項
	なし
	指摘事項への対応
	該当無し

## 2. 所管課の自己評価

観 点	評 価 の 内 容 ( 特 記 事 項 )	評 価 点
必 要 性	広域的・多目的な県民の利活用を目的とした広域公園として、また、全国規模の競技会が開催できる県内唯一の運動施設として、引き続き整備を行う必要がある。	18点
緊 急 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>「秋田わか杉国体、秋田わか杉大会」に向けた施設の改修及びバリアフリー化などには開催に合わせ早急に取り組む必要がある。</li> <li>あきた21総合計画に一人当たり都市公園面積の増大など継続的な整備の必要性が記述されている。</li> </ul>	22点
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>高速道路のインターチェンジに近接し、かつ、全国規模の競技会が開催できる県内唯一の運動施設であり、スポーツ振興に果たす役割も大きい。</li> <li>県民のレクリエーション需要に的確に対応できる施設が集積しており、整備の有効性は極めて高い。</li> </ul>	18点
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の費用便益費は1.68であり効率性は高い。 総費用の現在価値 589.6億円 総便益の現在価値 989.8億円</li> <li>再生材料や二次製品等の利用などにより、コスト縮減を図っている。</li> </ul>	11点
熟 度	事業用地の取得や事業実施に必要な手続きはすべて終了している。	15点
判 定	ランク ( ) 県民にスポーツ・レクリエーションの場やすらぎと潤いの場を提供するなど、有効性・効率性・熟度の評価が高いことから、引き続き実施すべき事業である。	84点
総 合 評 価	継続 改善して継続 見直し 中止 事業継続は妥当である。	

## 3. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

引き続きコスト縮減に留意しながら、事業を継続する。
---------------------------

## 4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を「可」とする。
----------------

評価種別 継続箇所評価  
適用基準名 広域公園事業

事業コード(H19-建-継-1 )  
箇所名 (秋田市雄和椿川 )

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要	
必要性	都市公園の充足度					
	一人当たりの都市公園面積 (県全体、都市計画区域)	1 0 m <sup>2</sup> /人未満 1 0 ~ 2 0 m <sup>2</sup> /人未満 2 0 m <sup>2</sup> /人以上	9 5 1	5		
	公園の規模・配置					
	公園の計画面積	1 0 0 ha以上 5 0 ~ 1 0 0 ha未満 1 0 ~ 5 0 ha未満	8 5 1	8		
	既存広域公園からの距離	4 0 km以上 2 0 ~ 4 0 km未満 1 0 ~ 2 0 km未満	8 5 1	5		
	計		25	18		
	緊急性	上位計画				
		県の総合計画への位置付け	実施計画期間内の完了 実施計画期間内の実施・促進 実施計画期間以後の実施	7 4 1	4	
		他の計画での位置付け(計画数) ・都市計画マスタープラン・緑の基本計画 ・県広域緑地計画・その他( )	3計画以上 1 ~ 2計画 なし	6 3 1	6	
		関連行事(予定されるイベント等)				
重要度(規模)・イベント名		国際大会、全国対象 東北対象、全県対象 なし	6 3 0	6		
実施(開催時期)		5年以内(定期的な開催含む) 10年以内 11年以上またはなし	6 3 0	6		
計			25	22		
有効性		環境対策				
		環境保全(対象の重要度)	貴重な動植物、景観(条例等) 良好な自然環境、景観 なし	5 3 0	3	
		緑化推進(緑化整備計画面積)	1 0 ha以上 5 ~ 1 0 ha未満 1 ~ 5 ha未満	5 3 1	5	
	利便性、多様性					
	交通拠点からの所要時間 (高速道路IC、鉄道駅、空港)	1 0分以内 1 1 ~ 3 0分以内 3 1分以上	5 3 1	5		
	公園施設の種類	1 0種類以上 6 ~ 9種類 1 ~ 5種類	5 3 1	5		
	計		20	18		
	効率性	事業費、財源の投資効果等				
		費用対効果(B/C)	1. 0以上 1. 0未満	6 0	6	
		財源対応	国庫補助採択済 国庫補助採択予定 単独事業(県債充当)	3 2 1	3	
コスト縮減(該当項目数) ・建設副産物活用 ・新工法採用 ・借地、占用対応 ・その他( )		3項目以上 1 ~ 2項目 なし	3 2 0	2		
他事業との関係						
関連施設整備事業等・事業名( )		関連事業実施中(済) 関連事業実施予定(5年以内) 関連事業実施予定(6年以上)またはなし	3 2 0	0		
計			15	11		
熟度		進捗状況				
		事業用地取得状況	取得完了(取得不要) 一部取得(工事着手) 一部取得(工事未着手)	10 5 1	10	
		手続きの状況	供用開始済施設あり 都市計画事業認可済 都市計画決定済	5 3 1	5	
	計		15	15		
合計			100	84		

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上		
	優先度が高い	60点以上 ~ 80点未満		
	優先度が低い	60点未満		